

災害列島で暮らす

カレンダーが残り少なくなつたというのに大阪方面に近づくにつれ、先の台風21号被害の爪跡が視界に入ってきます。今もブルーシートの目立つ街、割れたスレートやガレージの屋根。御堂筋では銀杏並木の多くが倒れ、閑空被害はニュースで聞く通り。

雨粒さえ落ちてこない朝からスマホに届く避難準備・避難勧告・防風警報といった着信の多さに音を切つて過ごし、大騒ぎの割には「なあんだ」と感じた屋下がり、唐突に風がうなり、家がきしみました。窓やドアを開けるなんてとんでもない!

まごひち瓦版
 ライフスタイルに関する情報をもっと知りたい
 貴方にお届けする地元企業発行のかわら版です

発行元
 住所: 〒636-0143
 奈良県生駒郡斑鳩町
 神南3丁目13-13
 TEL 0745-74-1218
 孫七瓦工業株式会社
 まごひち瓦版編集部
<http://www.magohichi.com>



倒れた電柱写真
 電気新聞デジタルより

台風被災者さんが発する「突然でした」という表現を実感しました。避難指示(緊急)が出てからの避難は不可能です。高齢者、乳幼児、病人のいるご家庭では準備を怠らない、余裕をもち自分に応じた「早めの行動」という当たり前の事が非常に大切です。

(社長コラム)

6月18日、最大震度6弱の大阪府北部地震があり、9月4日には台風21号が近畿地方に上陸しました。当社のある斑鳩町近辺では、平成10年9月の台風7号以来、約20年ぶりに大きな屋根被害が多数ありました。このような地震や台風災害時には、家屋などの修理工事依頼が一時に集中します。今回も、9月4日から5日にかけて会社の電話は止むことがありませんでした。そして、今回の被災はかなりの広範囲にわたった為、瓦や資材の欠品、それに伴う価格の高騰が起こりました。当社も社員一丸とな

かわら版の送付停止をご希望の方は、発行元までご連絡下さい。ご連絡と送が前後してしまった場合は次号より停止させていただきます。

つて、工事依頼に対応させて頂きましたが、調査や工事などが遅くなった方もおられ、お客様には多大なご迷惑をお掛けして申し訳ございませんでした。

標準施工要領書」(葺

先日、春に屋根葺き替え工事をお客様にお会いした際「早めに屋根葺き替え工事を依頼しておいて良かった。もし、工事をしていなかったら、周辺に瓦が飛んで、今回もご迷惑をかけるところだった。」と仰っていました。

実は、約20年前の台風の時に、瓦が飛んで苦い経験がされていたのでした。

当社では、「瓦屋根標準設計・施工ガイドライン」(新築時)や「瓦屋根

き替え工事時)に記載された工法に準じた工事を行っています。この工法は、全国で約2600社が加盟している一般社団法人全日本瓦工事業連盟が発行や監修をしているものです。この工法で工事をすると強い勢力の台風や強い地震が起こっても被害を最小限に抑えることが出来て、当社の経営理念にあるように安全で安心できる快適な住まいのある暮らしの提供が出来ます。「備えあれば憂いなし」「転ばぬ先の杖」とよく言いますが、今度、大きな台風や強い地震が来る前に安全で安心出来る屋根にしてみても如何でしょうか?

まごひちニュース

ビジネスへの導入が進むドローンを弊社でも導入致しました。大変鮮明な画像撮影が可能な4Kカメラ搭載。ヘリコプターというプロペラに当たるローターが4つ付いていることで安定した撮影が可能な機種です。危険を伴う高所での屋根点検作業、梯子をかけるのも難しい敷地の屋根、構造的に上がるのに不安のある古い建物等への調査利用という利点だけでなく、施主様には同行できない屋根に上がって一方的に判断される見取りではなく、現場で施主様と一緒に画像確認していただくことも可能です。

屋根点検・ドローン導入キャンペーン(案)など企画中です。

